直根について

・大雨や台風による土砂災害は、人工植林が行われた場所で多くの場合起きている。人工植林は、天然林に比べ土壌保全力や保水能力が明らかに低い。これは、**根の発達が不良で浅い**ことが原因と考えられる。植栽した木と天然性の木とには、根の形態に大きな違いがある。

天然木の根は数は少ないが、太く、長く、広範囲に伸びる。

特に、「直根」(垂下根)が地中深く伸長する。また、側根(横に伸びる根)も太く長く発達し、隣の木の根と相互に交わる「ネット構造」を形成する。

これに対し、植木の根には、細い、短い、数が多いが直根が消失するなど、天然木との明らかな違いが認められる。

特に、植木では直根の地中深くへの伸長は見られない。

また、側根が細く密生し短いので、 ネット構造はほとんど形成されない。 つまり、土砂災害に強い森林を 作るには、根っこが深く発達した 倒れにくい木が良いということになる。 そこで、良い根っこを持った植林用の 育苗が必要となってくる。



播種木 (いわゆる天然木)



天然木 (実生苗)



植栽木 (いわゆるポット苗)

ポットのいろいろ

竹ポット比較的軽く、しっかりもしているため扱いやすい 苗とそのまま植え付けが出来る 竹林の整備にも役立つ

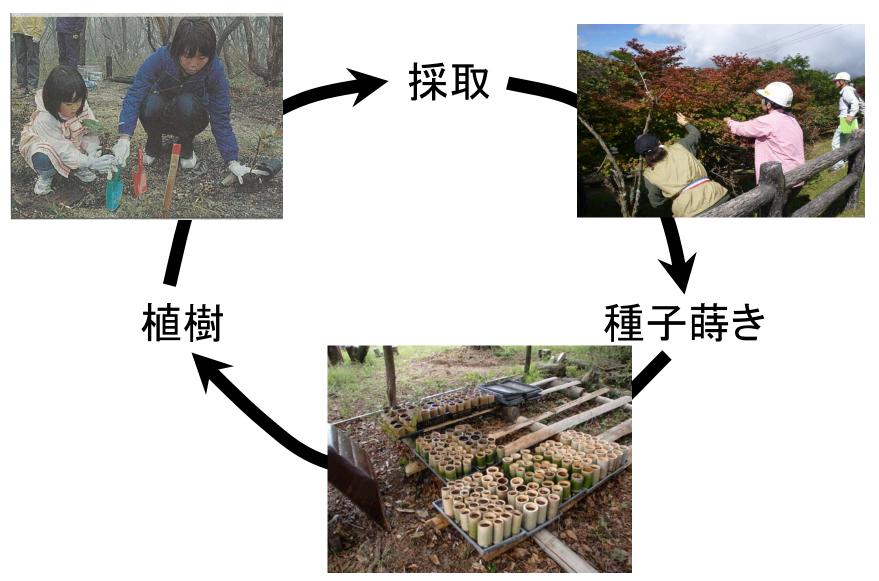
- ・土ポット(保育ブロックエ法:元信州大学・山寺教授提唱) 土で整形するため、苗とそのまま植え付けが 出来るが、整形が難しく重い 土のため雨ざらしに出来ない(ハウスなど必要)
- ・ポリポット 軽く一般的だが、土で分解しないため回収が必要







種子の循環



- ・竹の切り出し
- ①竹ポットの元となる竹を切り出す

放置された竹やぶは間隔が込み入っているため、木材のように伐倒せず 根元を抜き出す方が簡単。



②根元を切り、竹をずらす







③運び出しやすい長さに切る(トラックに載る長さぐらい)



④切り株に水が溜まらない様に処理を行なって置くといい(やぶ蚊の発生に つながらない)











4完成



①用意するものは土、スコップ、腐葉土、新聞紙。



<。







土をかぶせて、ドングリを埋める 第土を厚さ1~2センテメートルくらいかけ ⑥冬に備え ⑦最後に水をたっぷりかける。 ⑧週に1~2回水やりを行う。

ドングリの植え方 うまくいき、何ヶ月かすると写真のように芽が出てきます。

